

14 番（小川義昭議員）

次に、白山市公共施設整備基金について伺います。

老朽化が進行する公共施設の更新には、今後多額の費用負担が予想されます。これに伴い、長期的な視点を持って計画的に大規模改修や更新が実施できるよう、財源の確保、財政負担の平準化を図る必要があることから、白山市公共施設整備基金条例が平成 29 年 3 月 24 日から施行されました。

この基金は、市営松任金剣通駐車場用地を含む土地売却収入の財源を基に創設され、公共施設整備基金積立金は平成 29 年度の 1 億円をスタートとして、令和 3 年度末の見込み残高が 2 億 7,000 万円余とのことであります。ですが、長期的視野に立った場合、今後計画的に毎年度積み立てていく必要があるのではないかと考えます。

当然、公共施設を売却した場合の収入は基金に繰入れされると思いますが、これから毎年度基金に定期的に積み立てていかれるのか、また、最終的には何年度にどれだけの基金残高を目標とされているのか、さらに、いつの時点から取り崩していくのか、これらの見込みとして計画的な数字をお示しできるのであれば、ぜひ明らかにしていただきたいと存じます。